

長野県安曇野市の「特別養護老人ホームあずみの里」で、
おやつのだーナツを食べた後に85歳の入所者さんが
突然意識を失い、後日死亡されました。
その異変から1年後、准看護師の山口さんが、
業務上過失致死罪で起訴されました。
これが罪になるなら介護に未来はない。
山口さんはわたしだったかもしれない。
介護だけではない。人と関わる仕事すべてにかかわる裁判だ。
つばやき、呼び交わしながら、運動は日に日に広がりました。

本書『出版にあたって』より

判型：277×210 並製・146P
頒価：1,320円(税込) 送料別途

逆転 無罪

特養あずみの里
刑事裁判の6年7ヵ月

特養あずみの里
業務上過失致死事件裁判で無罪を勝ち取る会



『年表でたどる「裁判」と「支援」の記録』

『あの日、何が起こったのか』

『無罪の扉を開いた弁護団の法廷闘争』

『全国にひびきあう支援運動』

『介護の未来 ともに語ろう』『判決文全文掲載』など

特養あずみの里刑事裁判の6年7ヵ月